

## 令和7年度 学力・体力向上プラン

学校名 中央区立久松小学校

## 1 課題

【4月】令和6年度学力向上プランの検証結果、学校評価の結果等によって明らかになった課題 【10月】令和7年度学習力サポートテスト、体力テストの結果等によって明らかになった課題	
児童・生徒の学力の課題	
国語	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な図書に親しみ、読書する習慣が身に付いていない児童がいる。</li> <li>・「令和6年度学習力サポートテスト」における「漢字を書く」ことの内容において、区平均正答率を第4学年で0.1ポイント、第5学年で1.7ポイント下回っており、習得に課題がある。</li> <li>・「文章を書く」ことの内容で区平均正答率を第4学年で1.2ポイント、第5学年で0.9ポイント下回っており、課題がある。</li> </ul> <p>【10月】</p>
算数・数学	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を使って自身の考えを表現する場面で課題がある。</li> <li>・「令和6年度学習力サポートテスト」における第4学年で、「数と計算」において1.1ポイント、「図形」において0.9ポイント、「測定」において0.2ポイント下回っており、課題である。</li> <li>・「令和6年度学習力サポートテスト」における第4学年で、「円と球・三角形」において、区平均正答率を0.9ポイント下回っている。第5学年で、「いろいろな形」において、区平均正答率を2.1ポイント下回っている。図形領域において課題がある。</li> </ul> <p>【10月】</p>
社会	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象についての具体的な資料を読み取ることができるが、課題に対して調べたこと、分かったことを生かしながら考えを整理し表現することに課題がある。</li> <li>・「令和6年度学習力サポートテスト」における第4学年で、「安全を守る働き」で区平均正答率を1.7ポイント、「市の様子の移り変わり」で3.4ポイント下回っている。観点別では、「知識・技能」の観点において区平均正答率を1.2ポイント下回っており、課題である。</li> </ul> <p>【10月】</p>
理科	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・観察に使用する器具の正しい扱い方やそうした器具を活用することで何がきらかになるのかなど、基本的な活用方法に対する理解が不十分な点が課題である。</li> <li>・「令和6年度学習力サポートテスト」において、第4学年では区平均正答率を「知識・技能」で3.9ポイント、「思考・判断・表現」で1.9ポイント「主体的に学習に取り組む態度」で3.1ポイント下回っている。</li> <li>また、内容でみると区平均正答率を「昆虫の育ち方」において7.8ポイント、「昆虫の体のつくり」において3.4ポイント、「音の性質」において7.9ポイント、「磁石の性質」において2.5ポイント、「物の重さ」において4.1ポイント下回っており、課題である。</li> <li>・「令和6年度学習力サポートテスト」において、第5学年では区平均正答率を「1年間の植物の成長」で1.1ポイント、「1年間の動物の様子」で1.8ポイント、「動物の体のつくりと運動」で2.5ポイント下回っており課題である。</li> </ul> <p>【10月】</p>
英語	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高学年は読み・書きの能力に個人差がある。</li> <li>・学習したことを生かし、自己表現する力や積極的に課題を解決していくなど、主体的に学習に取り組む態度を育てることが課題である。</li> </ul> <p>【10月】</p>

体力向上	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筋力や巧緻性・柔軟性、また固定器具等を使った運動の能力について、個人差が大きい。</li> <li>「令和6年度 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」において、握力、ソフトボール投げの数値が、男女ともに全学年にわたり、全国平均と同等、もしくは数値が低かった。</li> </ul>
------	--

## 2 年度末までの目標及び指標、具体的な取組

	年度末までの目標及び指標	具体的な取組
国語	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「令和7年度学習力サポートテスト」において、どの学年も「書くこと」の領域で区平均正答率を上回るようにする。</li> </ul> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して文を書く機会を設けて、書く力の育成に努める。</li> <li>日常生活に必要な国語の知識や技能を育成に努める。</li> <li>学級文庫や学校図書館を活用したりして、読書活動を促進する。</li> </ul>
算数・数学	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「令和7年度学習力サポートテスト」において、どの学年も「図形」の領域で区平均正答率を上回るようにする。</li> </ul> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「図形」の領域において、実際の活用場面と関連付けながら、基礎的な知識、理解を高める。</li> <li>課題に対して筋道を立てて考察する力を育てる。</li> </ul>
社会	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「令和7年度学習力サポートテスト」において、どの学年も教科全体で区平均正答率を上回るようにする。</li> </ul> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象において主体的に課題を追究する力を育てる。</li> <li>第4学年「安全を守る働き」「市の様子の移り変わり」では、体験的な学習を意図的・計画的に取り入れ、知識や技能をより確かなものにする。</li> </ul>
理科	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「令和7年度学習力サポートテスト」において、どの学年でも教科全体で区平均正答率を上回るようにする。</li> </ul> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題→予想→実験・観察→結果→考察の授業の流れを押さえて学習を行う。</li> <li>写真や図、模型や映像資料を活用し、視覚的に捉えて理解を深める。</li> <li>実験や観察を充実させるために、理科支援員と連携して実験準備を行う。</li> </ul>
英語	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「令和7年度学習力サポートテスト」において、教科全体で区平均正答率を上回るようにする。</li> </ul> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを生かして、主体的に自己表現しようとする態度を養う。</li> <li>写真や図、映像資料を活用し、視覚的に捉えて理解を深める。</li> </ul>
体力向上	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣調査において、児童が個々の記録を上回ることができるようにする。特に、握力・投能力の向上を目指す。</li> </ul> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に運動に取り組める環境づくりや、授業内で意識的に関連する運動を行う。</li> <li>児童が運動の技能を高め、運動を通じてできる喜びを実感させるために、水泳サポート教室やマット・跳び箱サポート教室、外部講師の授業を実施する。</li> </ul>

### 個別最適な学びと協働的な学びの充実

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の特性等にあった多様な方法で児童が学習を進められるよう、ICT機器を活用した学びの推進と実践のための情報交流を行う。</li> <li>児童の習熟度や課題に応じた指導のあり方を検討したり、デジタル教材を活用したりして適切な個別指導を行う。</li> <li>学び合うことができる小集団活動を効果的に取り入れた学習を展開する。</li> </ul>
----	--

探究的な学びの充実	
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究を中心とし、学年でのカリキュラムマネジメントを充実させる。</li> <li>・総合的な学習の時間、生活科において、探究的な見方や考え方を働かせる課題解決に取り組む。</li> </ul>

読解力の育成	
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動の推進のために、図書館の移動による整備、充実、朝の読書タイムの増加、読書委員会を中心とした読書活動の推進、読書月間の設定を行う。</li> <li>・言語活動の充実、小集団活動の充実、体験活動の工夫、ICT活用の充実を授業改善の視点とし、学年で授業の工夫、改善を行っていく。</li> </ul>



### 3 取組結果の検証

	令和7年度の取組の成果	令和7年度の取組の課題と解決策
国語		
算数・数学		
社会		
理科		
英語		
体力向上		

個別最適な学びと協働的な学びの充実
-------------------

成果と課題	
-------	--

探究的な学びの充実
-----------

成果と課題	
-------	--

読解力の育成
--------

成果と課題	
-------	--